

令和6年度

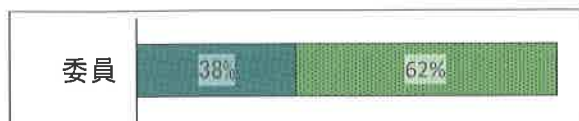
学校評価



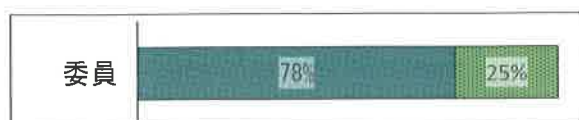
倉敷市立第三福田小学校

1 学校運営協議会委員アンケート結果

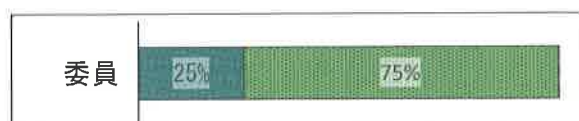
1-① 児童は、楽しそうに学校に通っている。



1-③ 児童は、友達と仲良く生活している。



2-⑤ 学校は、児童一人一人を認め、伸ばそうとしている。



2-⑦ 学校は児童に生命や人権を尊重する意識を育てようとしている。



2-⑨ 学校は、子どもの生活の場として、教育環境の整備に努めている。



2-⑪ 学校は、児童、保護者、地域の方に誠意をもって接している。



2-⑬ 学校は、学校の様子を知らせる機会を設けている。



1-② 児童は、よくあいさつをする。



1-④ 児童は、意欲的に学習に取り組んでいる。



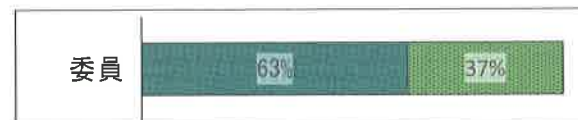
2-⑥ 学校は、学力の定着に努めている。



2-⑧ 学校は、行事等を創意工夫している。



2-⑩ 学校は、児童の健康・安全に努めている。



2-⑫ 学校は、行事や学習等を積極的に公開している。



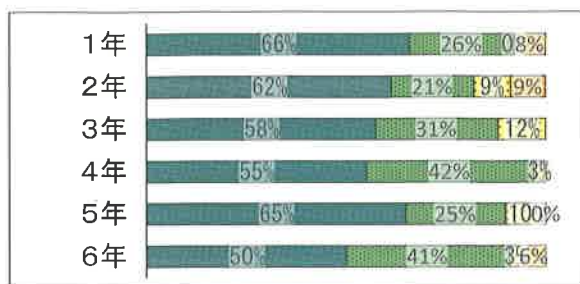
2-⑭ 学校は、児童が地域の方とふれあう機会を設けている。



概ね肯定的な評価の中、子どもと触れ合う場を増やす等、地域に開かれた学校づくりをさらに進めていきたい。

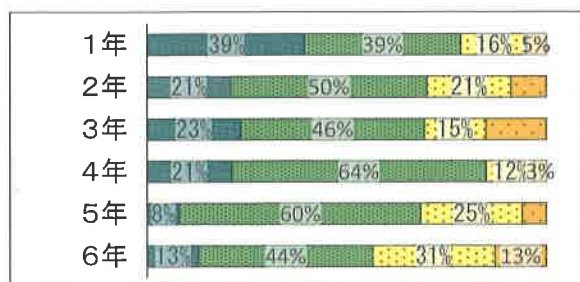
2 児童アンケート結果 その1

1-① 学校生活が楽しい。



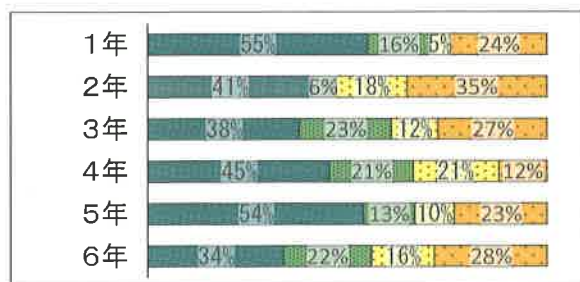
概ね肯定的で、どの学年の児童も学校生活が楽しいと感じている。

1-③ ろうかをいつも歩いている。



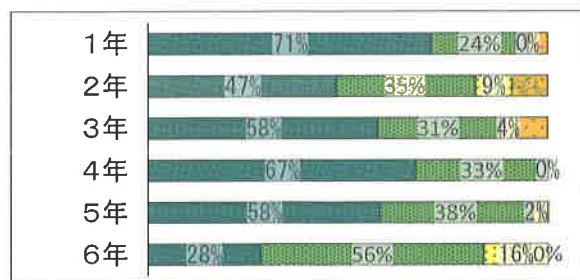
3割程度の児童が廊下歩行を意識できていない。安全への意識づけが必要。

1-⑤ メディアへの接し方に気をつけている。

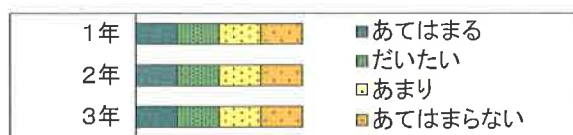


4割程度が否定的回答である。全学年への意識づけが必要。

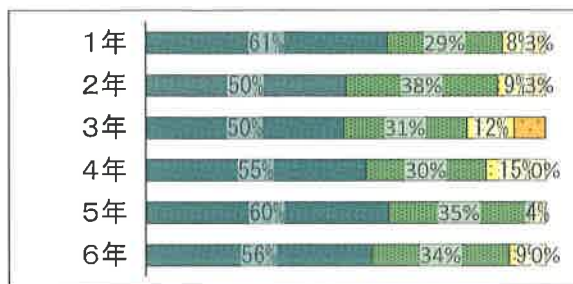
1-⑦ 友達にやさしい心で接している。



9割程度の児童が、概ねやさしい気持ちで生活できている。

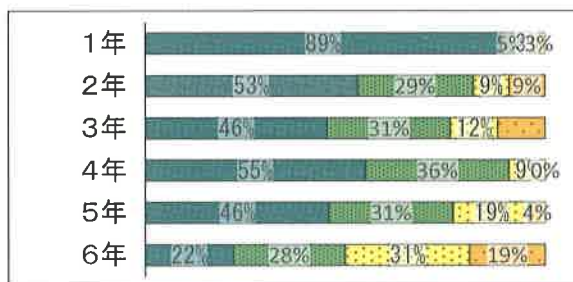


1-② あいさつをきちんとしている。



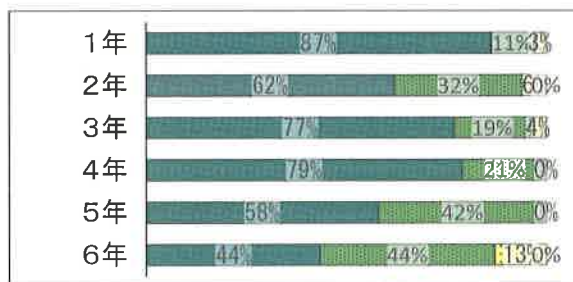
9割程度の児童が、概ねあいさつができている。さらにあいさつを意識させたい。

1-④ 本を進んで借りてよく読んでいる。



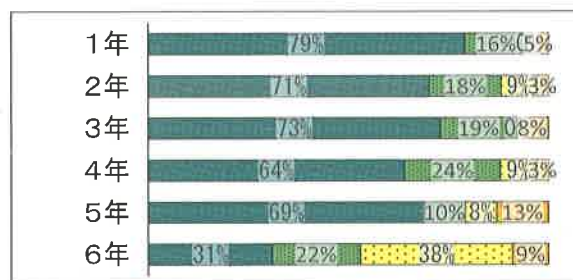
学年が進むにつれ、肯定的回答が減少傾向。高学年への意識づけが必要。

1-⑥ 掃除時には一生懸命掃除をしている。



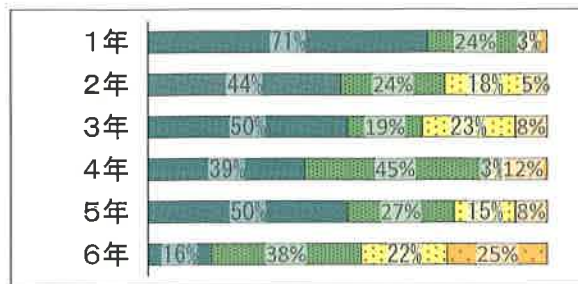
清掃への意識が高く、概ね一生懸命に掃除をすることができている。

1-⑧ 自分の夢（がんばりたいこと）について考えている。



学年が進むにつれ、肯定的回答が減少傾向。高学年への意識づけが必要。

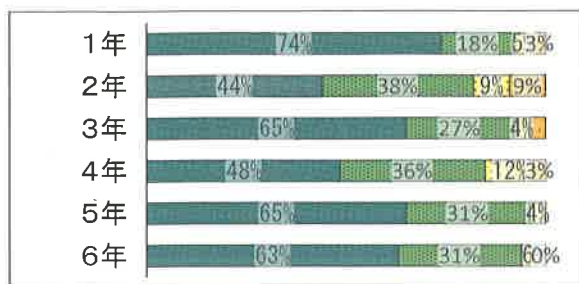
1-⑨ 自分にはよいところがある。



学年が進むにつれ、肯定的回答が減少傾向。高学年への意識づけが必要。

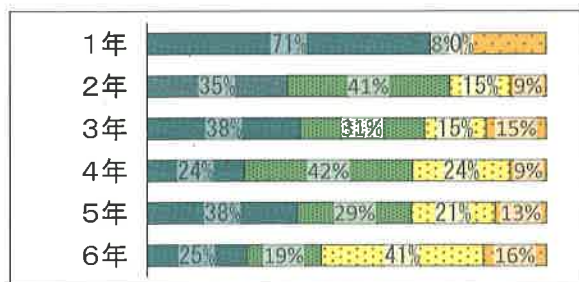
2 児童アンケート結果 その2

2-① 授業が分かりやすいと言っている。



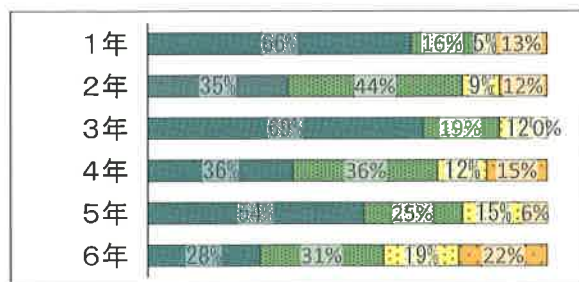
9割程度の児童が肯定的回答をしている。

2-③ 気になることが起きたら、先生に相談できる。



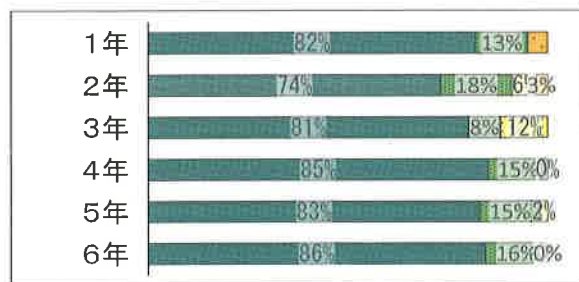
3割程度の児童が否定的回答をしている。相談しやすい環境づくりが必要。

4-① 児童は、算数の授業が楽しいと言っている。

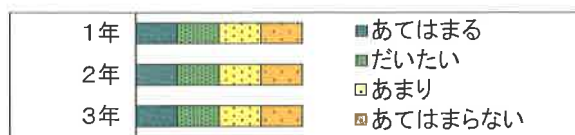


学年が進むにつれ、肯定的回答が減少傾向。楽しく学べる授業改善が課題。

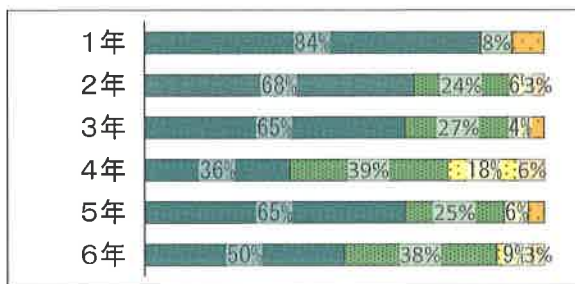
4-③ 授業の中で「めあて」が示されている。



ほとんどの児童が肯定的回答。授業におけるめあての役割が定着してきている。

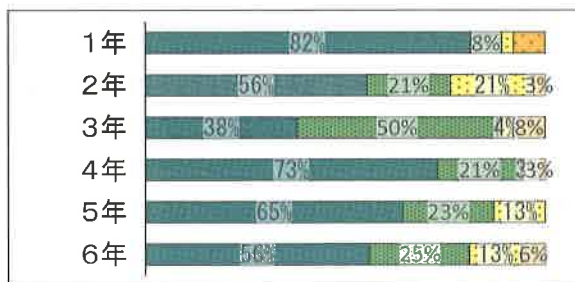


2-② 先生は、子どもをよく理解し、よくほめてくれている。



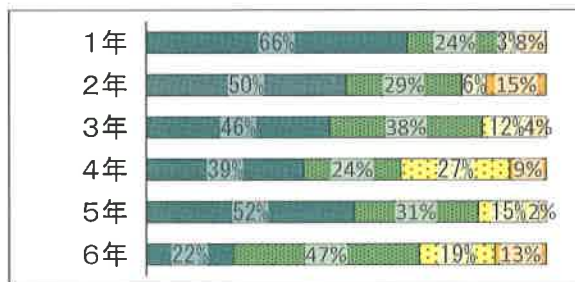
9割程度の児童が肯定的回答をしている。

2-④ 学校行事や集会を楽しみにしている。



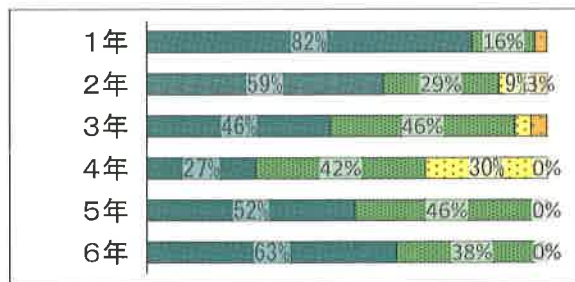
9割程度の児童が肯定的回答をしている。

4-② 児童は、国語の授業が楽しいと言っている。



2割程度の苦手な児童が楽しく学べる授業改善が課題であると言える。

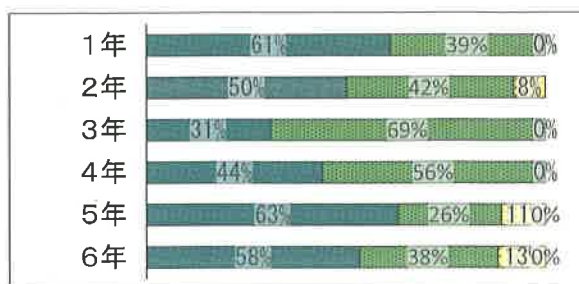
4-④ 授業の終わりに「ふり返し」の時間がある。



ほとんどの児童が肯定的回答。授業における振り返りの役割が定着している。

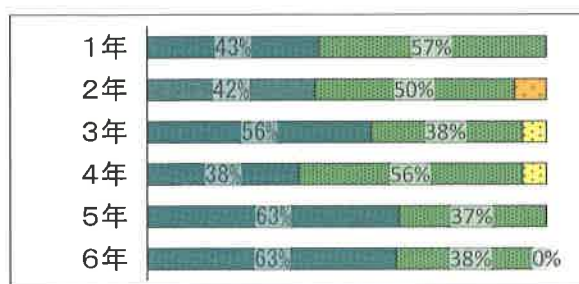
3 保護者アンケート結果 その1

1-① 学校生活が楽しい。



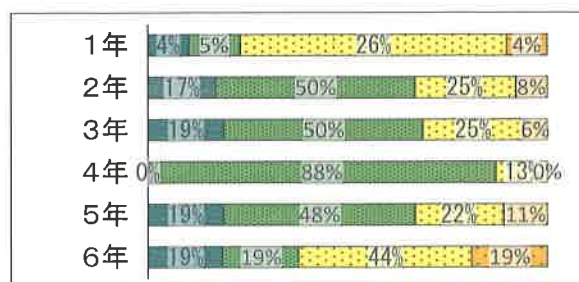
保護者は、我が子様子から学校生活を肯定的に受け止めている。

1-③ 学校の決まりを守っている。



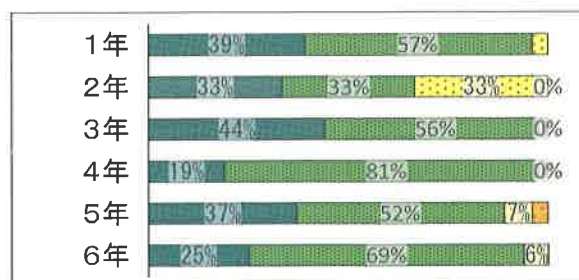
保護者は、概ね児童は決まりを守って落ち着いて生活していると感じている。

1-⑤ メディアへの接し方に気をつけている。

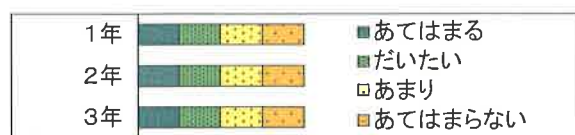


3割程度が否定的回答である。全体的に課題意識が高い。

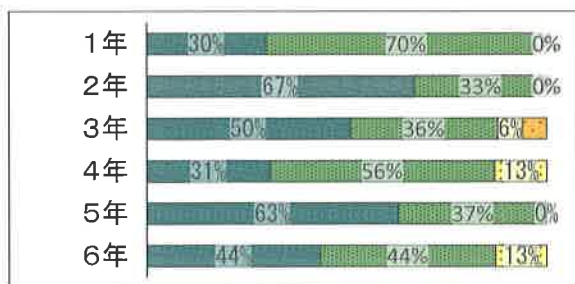
1-⑦ 命や人権を尊重する教育をしている。



命の大切さや人権意識を高める教育についての保護者からの評価は高い。

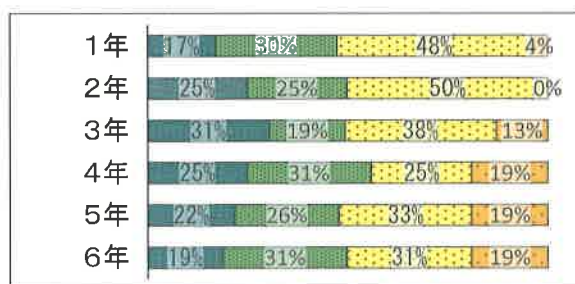


1-② あいさつをきちんとしている。



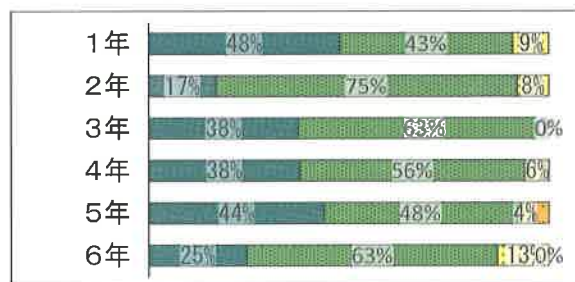
保護者は、児童のあいさつの様子を概ね肯定的に捉えている。

1-④ 本を進んで借りてよく読んでいる。



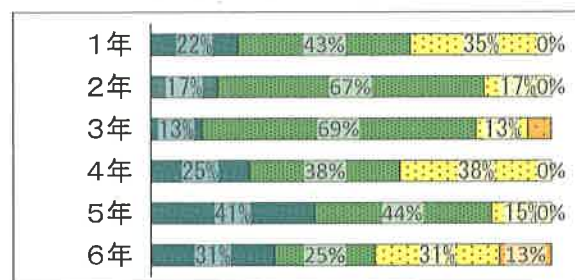
5割程度が否定的回答である。本をもっと読んでほしいと感じている。

1-⑥ 整理整頓と清掃のいきとどいた環境である。



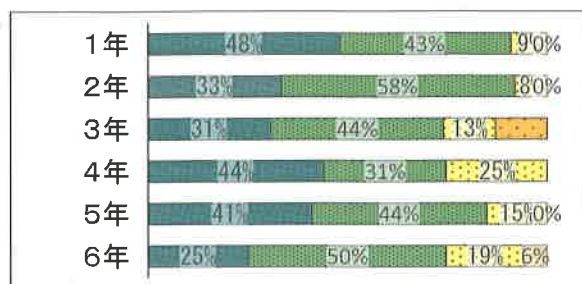
保護者は、概ね満足している。環境面での評価は高いと言える。

1-⑧ 自分の夢（がんばりたいこと）を話す。



2割程度の保護者は、自分の夢やがんばりたいことについて話し合っていない。

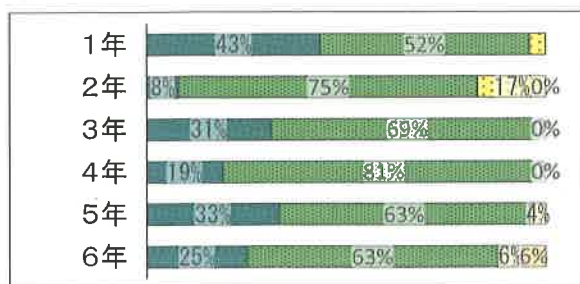
1-⑨ 自分にはよいところがある。



我が子が自分のよさに気づいていないと感じている保護者が2割程度いる。

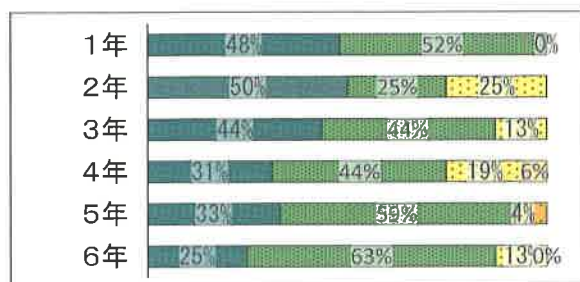
3 保護者アンケート結果 その2

2-① 授業が分かりやすいと言っている。



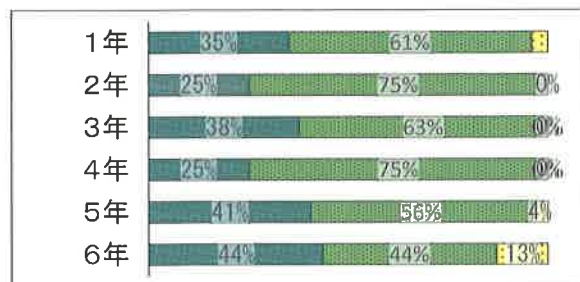
我が子の様子から、保護者は概ね肯定的に見ている。

2-③ 気になることが起きたら、学校に連絡して相談できる。



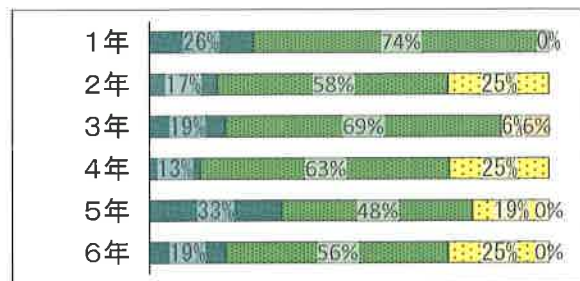
多くの保護者は学校を頼りにしているが、1割程度相談しにくいと感じている。

2-⑤ 道徳や体験的な活動で豊かな心を育てようとしている。

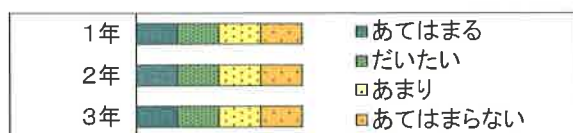


「心の教育」への見方は、概ね肯定的である。

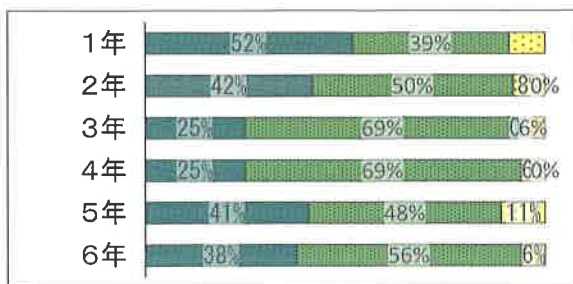
3-① 授業参観や行事、便り等で、学校のことがよく分かる。



概ね1割程度の保護者が、情報提供に課題を感じている。

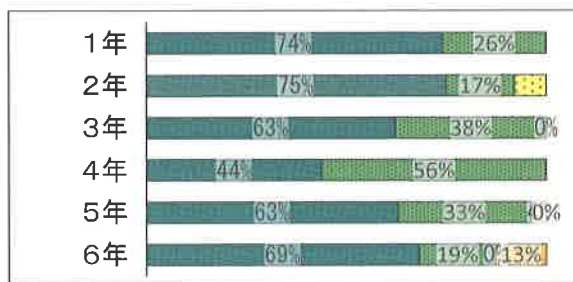


2-② 学校は、子どもをよく理解し、よくほめてくれている。



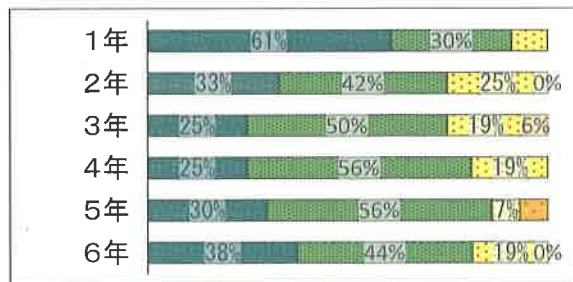
我が子の様子から、保護者は概ね肯定的に見ている。

2-④ 学校行事や集会を楽しみにしている。



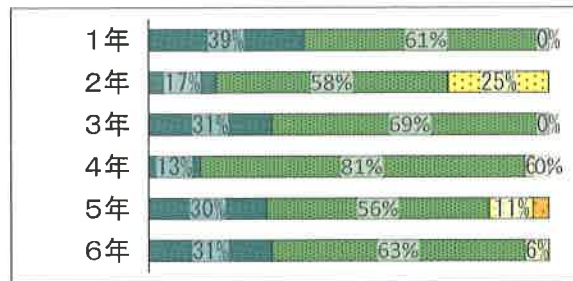
我が子の様子から、保護者は概ね肯定的に見ている。

2-⑥ 家庭への連絡や意思疎通をきめ細やかに行っている。



概ね1割程度の保護者が、家庭への連絡や意思疎通に課題を感じている。

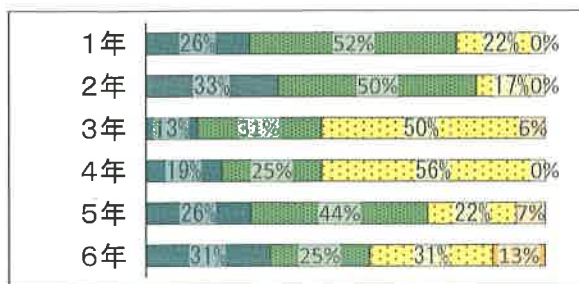
3-② 健康や安全（施設設備・事故防止等）に努めている。



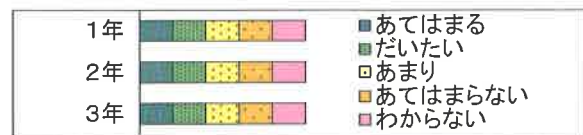
概ね1割程度の保護者が、健康や安全に課題を感じている。

3 保護者アンケート結果 その3

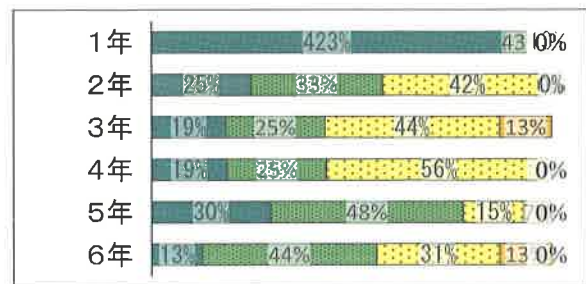
4-① 児童は、算数の授業が楽しいと言っている。



我が子は、算数の授業を楽しくないと思っている保護者が4割程度いる。

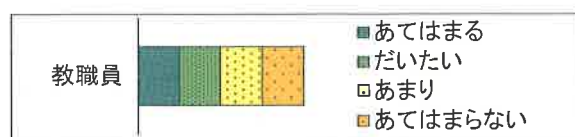


4-② 児童は、国語の授業が楽しいと言っている。

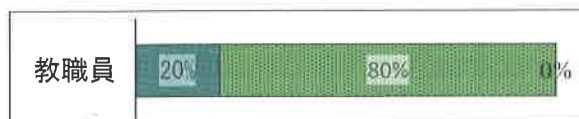


我が子は、国語の授業を楽しくないと思っている保護者は4割程度いる。

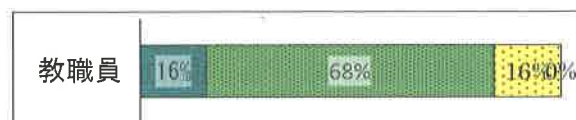
4 教職員アンケート結果 その1



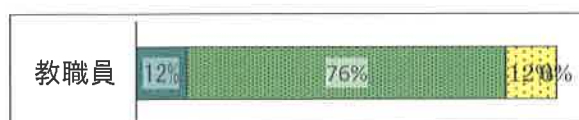
1-① 学校生活が楽しくなるよう配慮。



1-② あいさつができるよう指導。



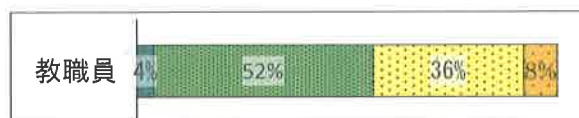
1-③ 廊下を歩くよう指導。



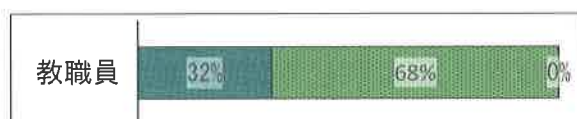
1-④ 読書に親しむ子どもの育成。



1-⑤ メディアへの接し方に気をつけるよう指導。



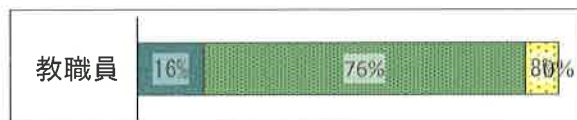
1-⑥ 整理整頓と清掃のいきとどいた環境づくり。



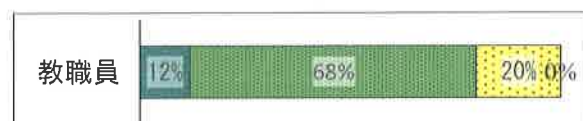
1-⑦ 命や人権を尊重する教育の充実。



1-⑧ 自分の夢（がんばりたいこと）への意識付け。



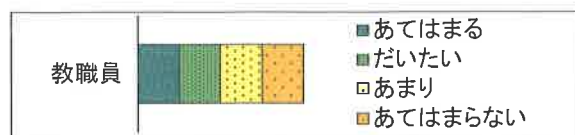
1-⑨ 自分の良さを自覚するような意識付け。



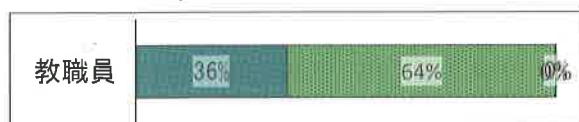
「楽しい学校生活」「あいさつ」「清掃」「人権尊重」については児童・保護者のアンケート結果から概ね取り組みの成果がうかがえる。

「読書習慣の定着」「メディアコントロール」「キャリア意識の向上」「自己肯定感の向上」については教職員がさらに高い意識で取り組んでいく必要がある。

4 教職員アンケート結果 その2



2-① 指導方法の工夫や改善を行っている。



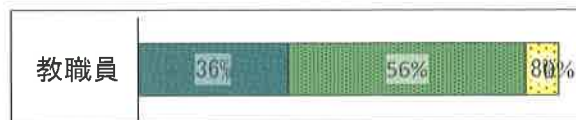
2-② 子どもに活躍できる場や機会を作っている。



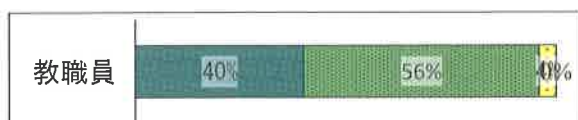
2-③ 問題や気になることを報告し、対策を考えている。



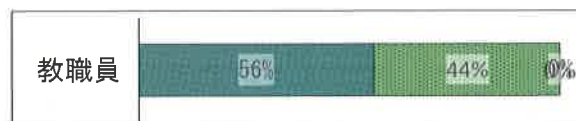
2-④ 学校行事に創意工夫を凝らしている。



2-⑤ 道徳や体験的な活動で豊かな心を育てようとしている。



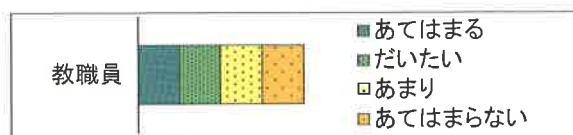
2-⑥ 家庭への連絡や意思疎通をきめ細やかに行っている。



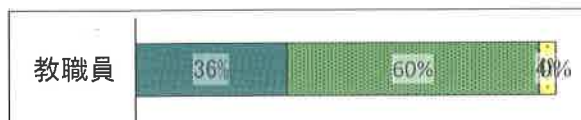
「指導方法の工夫」「活躍できる場づくり」「学校行事の工夫」「豊かな心の育成」は保護者からも好意的に受け取られており、取組の成果が現れている。

3割程度の児童が「先生に相談できない。」と答えている。このような実態を踏まえ、児童の様子や変化に注視し、教職員の方から児童に働きかけたり、教育相談等で担任だけでなく担任外の教職員とも話せたりするような取組が必要である。

4 教職員アンケート結果 その3



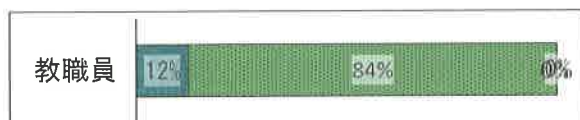
3-① 授業参観や行事、便り等で、学校のことをよく知らせている。



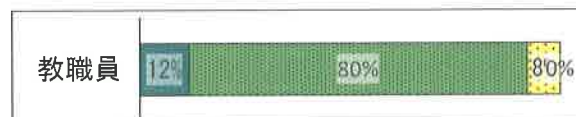
3-② 健康や安全（施設設備・事故防止等）に努めている。



4-① 児童が楽しく算数の授業に取り組むようにしている。



4-② 児童が楽しく国語の授業に取り組むようにしている。



4-③ 授業の中で、めあてを示している。



4-④ 授業の最後に振り返りの時間を設けている。



「授業が楽しくない」と感じている児童の割合が2割程度いる。「楽しくない」と感じている児童の割合を少しでも減らせられるように、授業改革をさらに進めていかなければならないと感じている。

「めあて」「振り返り」に関しては児童の評価は高く、取組の成果が現れた形となっている。